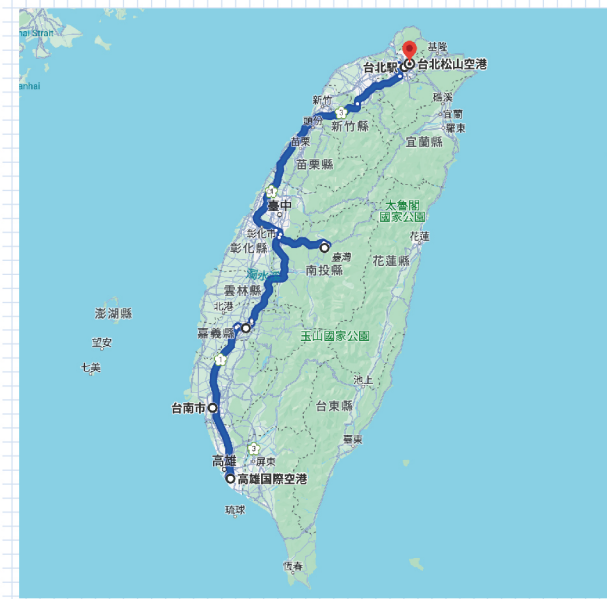




# 教科書で学びきれない 台日歴史ツアー



横井奈穂・栄谷房之助・岡田萌生  
谷口綾・陳雨亭・浜本菜美  
県立広島大学

エリア

北部 中部 南部

テーマ

歴史 文化 人権 民族 宗教 産業 建築



## 学びのポイント

日本統治時代の台湾における日本の圧政やそれに対する霧社事件などの抵抗運動について、日本の高校までの授業で取り扱われることはほとんどありません。そのため、多くの日本の学生は台湾における日本統治の良い側面しか知りません。そこで日本統治時代に建造された建物や、同時期に日本による影響を強く受けた建物などを訪れることで、日本による台湾統治の実態を、日本と台湾の二つの視点から検討することが、今回の学びのポイントです。

## 参考文献

胎中千鶴『植民地台湾を語るということ:八田與一の「物語」を読み解く(ブックレット《アジアを学ぼう》)』風響社 2020年

游珮芸・周見信『台湾の少年1 統治時代生まれ』岩波書店 2022年

上水流久彦編『大日本帝国期の建築物が語る近代史 過去・現在・未来(アジア遊学266)』勉誠出版 2022年



### 西本願寺広場(台北市)

西本願寺広場は台北市の西南部、萬華区にあります。日本の植民地統治時代、京都の西本願寺を本山とする浄土真宗本願寺派は、1901年から台湾別院(1929年までは台北別院)を布教の根拠地としました。その跡地を整備し、公園にしたのが西本願寺広場です。中国国民党が台湾に来た1949年以降は、新興宗教・理教の本部となり、旧境内は眷村(中国大陸から台湾に渡ってきた軍人とその家族が住んだ場所)になりましたが、2005年以降整備が進み、現在の姿となりました。公園内の建物の一部は歴史建造物に指定されています。また、近くに台湾の原宿と言われる西門町があります。ここも植民地時代に発展した地域です。



### 猴硐(新北市)

猴硐は台北から台湾鉄道(在来線)で40~50分の地で、付近一帯は猫村とも呼ばれています。多くの猫がすみついていることから、世界中から猫好きが訪れます。駅周辺には、猴硐煤鉱博物館があります。日本統治時代に台湾人と日本人が共同で開発して非常に発展した炭鉱があり、当時の過酷な労働環境や鉱員たちの日常を知ることができます。日本統治時代に栄えた町の現在の風景を眺めながら、日本と台湾の歴史を知ることができるのです。



### 檜意森活村(嘉義市)

嘉義は、1912年の阿里山森林鉄道開通(全面開通は1914年)によって栄えた街です。1915年以降、鉄道の始発駅である北門駅の付近に林業関係者の官舎や関連施設が多く建てられました。建築用材は主に檜が使われていたため、官舎が集中するエリアは「檜町」と呼ばれて、第二次世界大戦後には「檜村里」と名称変更されました。檜意森活村には、日本式木造建築群が保存され、人気の観光スポットになっています。



### 霧社事件餘生紀念館(南投県)

霧社事件とは、台湾の先住民と日本との間で起こった戦いの一つです。2012年に設立された霧社事件餘生紀念館では、この霧社事件に関する展示が見られます。館内展示のみならず、集落全体から霧社事件の当事者であるセデックの人々の生き方について知ることができます。「餘生」の言葉には、生き残りという意味があります。川と山に囲まれた小さな集落には、セデック(ひと)として生きようとする人々の歴史が刻みこまれています。



### タバニー事件紀念園區(台南市)

台南市の玉井は、1915年に起こった漢人系住民による大規模な抗日武装闘争の中止の舞台となった場所です。その闘争は、タバニー事件(西来庵事件)と呼ばれています。住民と日本の警察、軍隊の戦闘の結果、300人余りが戦死し、100名以上が処刑されました。事件後、抗日運動は合法的な政治運動へと転換していきます。2015年にタバニー事件100周年を記念して「噍吧哖(タバニー)事件紀念園區」が玉井につくられました。

## 1 日目 START 台北松山空港

台北

西本願寺広場

大稻埕

猴硐

九份

## 2 日目

南投

九族文化村

## 3 日目

霧社事件餘生紀念館

嘉義

阿里山地域

## 4 日目

タバニー事件紀念区

篤料理

台南

台南愛国婦人館

GOAL 高雄国際空港